

2025年5月8日

報道関係各位

GMO AI&ロボティクス商事株式会社

GMO AI&ロボティクス商事、エレベーター連携可能な多機能ロボット「UP」を提供する RoboPath と販売代理店契約を締結

～自律型 AI ロボットで多層階施設の清掃・配送・配膳等を自動化し、DX 推進を加速～

GMO AI&ロボティクス商事株式会社（代表取締役社長：内田 朋宏、以下 GMO AIR）は、エレベーターの自動乗降^(※1)が可能な自律型 AI 搭載の多機能サービスロボット「UP（アップ）」を提供する RoboPath 株式会社（代表取締役：平木 康孝、以下 RoboPath）と、日本国内における販売代理店契約を締結いたしました。（サービスサイト：<https://ai-robotics.gmo/lp/robopath/>）

これにより、GMO AIR は「UP」の日本国内導入支援を本格化し、ホテルをはじめ、タワーマンションや医療施設、オフィスなど多層階施設における業務効率化、人手不足解消および DX 推進に貢献してまいります。



GMO
AI&ロボティクス商事

RoboPath
-Robotics-

(※1) RoboPath が開発した独自技術によりエレベーターと「UP」の連携行い、自動乗降を実現

【背景】

近年、訪日外国人観光客の急増により、ホテル・旅館の宿泊ニーズは大きく拡大しています。その一方で、現場では人手不足が深刻化しており、供給が追いつかず、稼働率を意図的に制限せざるを得ないケースも増加しています。^(※2) また、高層ホテルや大型施設となると、清掃業務やルームサービス等の「縦の移動」による業務負担がさらに増加し、スタッフの疲弊やサービス品質の低下につながる可能性があります。

こうした課題に対し、RoboPath の自律型 AI 搭載の多機能サービスロボット「UP」は以下のようなソリューションを提供します。

- ・清掃・配送・配膳など、複数業務を 1 台でカバー
- ・エレベーターとのシームレスな連携によるフロア間移動

- ・ 24 時間稼働による業務の常時対応とスタッフの負担軽減

これにより、「稼働率を上げたいが、スタッフが足りない」という宿泊施設の課題を、根本から解決する新たな選択肢となります。

GMO AIR は、GMO インターネットグループのこれまで培ってきた営業基盤と幅広いネットインフラ商材を掛け合わせた独自のシナジーをもとに、日本国内での導入拡大を積極的に推進していきます。

(※2)：日本経済新聞電子版 2024 年 6 月 20 日付

「訪日客、コロナ前超え続く 5 月、3 カ月連続 300 万人 宿泊業の人手不足深刻に 省人化投資・賃上げ急ぐ」

<https://www.nikkei.com/article/DGKKZO81507450Z10C24A6EP0000/>

【自律型 AI 搭載の多機能サービスロボット「UP」の強み】

■ 特長①：着脱式モジュールによる多用途対応

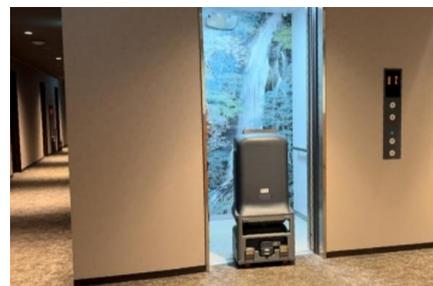
着脱式の上部モジュール構造を採用しており、用途に応じて簡単にユニットの交換が可能となり、同じ施設内に発生するマルチタスクを人による指示と AI 判断により「UP」が最適に対応します。

たとえば、配送ユニットを装着すればルームサービスや荷物の自動配送に、清掃ユニットに切り替えることで共用部や廊下の床清掃も自律的に行えます。運用フローや利用頻度に応じて最適な機能構成に柔軟に対応できる点が、他社製品との大きな差別化ポイントとなっています。



■ 特長②：メーカー・保守会社を問わないエレベーター連携

RoboPath が開発した独自技術でエレベーター連携を可能とし、施設に設置されているメーカーや保守契約の異なるエレベーターにも柔軟に対応しています。特別な制御機器の入れ替えを必要とせず、既存設備を活かして短期間かつ低コストで導入が可能です。



【導入ユースケース：「縦の移動」を必要とする多層階施設に最適】

「UP」の最大の強みの一つは、エレベーターとの連携による「縦の移動」です。この特性を活かし、以下のような建物でのユースケースが想定されます。

・ 高層ホテル・大型宿泊施設

→自動清掃の階層移動、客室階へのルームサービス配送を無人で実現。

・ タワーマンション・レジデンス

→ 宅配や館内移動のサポートロボットとして、非接触対応・バリアフリー対応にも活用。

・ 総合病院・医療施設

→ 医療機器・備品の搬送、病棟清掃などを自動化し、医療スタッフの負担を軽減。

このように、エレベーター対応が求められる多層階施設を中心に、既に多く企業様にご利用いただいています。

【GMO AI&ロボティクス商事について】 (<https://ai-robotics.gmo/>)

GMO AIR は、AI・ロボット事業を担う総合商社として 2024 年 6 月 18 日に設立されました。AI 技術とロボットの導入・活用支援を中心に、さまざまな業界において効率化と自動化を促進する革新的なソリューションを提供します。GMO AIR は、国内外のロボットの提供にとどまらず、GMO インターネットグループの強みであるインターネットインフラサービスや、金融事業を活用したレンタル・リース、AI コンサルティングをあわせてご提供することで、人口減少などの社会課題を解決し、安全で持続可能な未来の実現を目指します。

【RoboPath について】 (<https://robopath.co.jp/>)

サービスロボットおよび AI ソリューションの開発/提供を行う日本発のスタートアップ企業です。「AI ソリューション×ロボティクスで社会課題を解決する」をミッションに掲げ、エレベーターを使用したフロア間移動によるサービスや業務が発生する、ホテル・病院・工場・オフィス・タワーマンション等の多層階施設を中心に、自律型 AI 搭載の多機能サービスロボット「UP」を提供しています。RoboPath は、このロボット事業と AI ソリューション事業を通し、生産性向上させ、人手不足などの課題解決を目指します。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 田部井
TEL : 03-5456-2695
お問い合わせフォーム :

【GMO AI&ロボティクス商事株式会社】 (URL : <https://ai-robotics.gmo/>)

会社名	GMO AI&ロボティクス商事株式会社
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 内田 朋宏
事業内容	■AI 活用導入支援 ■ロボット・ドローン導入・活用支援
資本金	1 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会社名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	持株会社 (グループ経営機能) ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資本金	50 億円